

家庭ごみの有料化について

広聴会

を開きました。

さまざまな意見が続出!

現在那覇市では、一般廃棄物対策審議会へ、「家庭ごみの有料化について」諮問しているところ。広く市民の意見を取り入れるために、5月24日石嶺公民館、25日久茂地公民館、28日中央公民館、30日小禄南公民館で広聴会を開きました。広聴会では、さまざまな意見が続出しました。全ての意見を掲載できないのが残念ですが、その一部を紹介します。



那覇市首里石嶺町(主婦) 宇地原 睦恵さん(48歳) 生産者も負担を

基本的には賛成です。プラスチック類のごみだけを高くすると、スーパーにすぐ捨てに行きます。スーパーの人達は処理費用を払うことになるから大変と思うようになり、生産者側が動くんじゃないかなと考えました。



さまざまな意見で熱気にあふれた広聴会(中央公民館)



那覇市字小禄(無職) 平良 美佐子さん(64歳) ごみを買わされている

今日の社会というのは消費社会のようですが、よく考えると生産社会なんですね、作る側は作りっぱなし、消費者はスーパーに行つてどんどん買わされる



那覇市松川(主婦) 城間 ハツエさん 有料化でごみは減らない

お金を出せばごみをいくらでも出していいという考えになる。有料化して慣れてくるとごみは増えていくと思いません。ごみが減った場合は有料化をしないのでしょいか?



那覇市楚辺(自治会長) 棚原 恵誠さん(75歳) 税金で賄うべき

いよいよそこまで来たか。本来自ら、全部とはいいませんが、ごみはですね、税金でまかなうべきだと思うんです。私は反対です。(拳を震わせながら、力説していただきました)

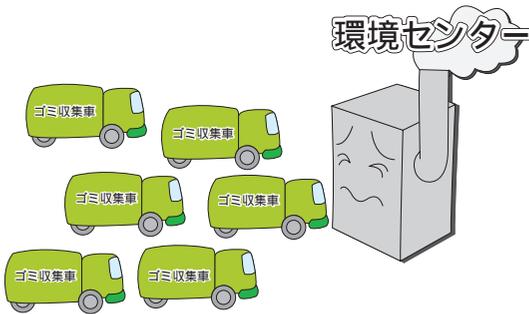


那覇市楚辺(自治会長) 屋嘉 宗展さん(75歳) 有料化=ごみ減量

有料化は避けては通れないものだと感じた。有料化することによって市民がごみに意識をもつと、これがメリットになると思います。賛成というところで、ぜひやってほしい。これが減量化につながると思う。



搬入されたごみを検査する市職員(環境センター)



那覇市字仲井真(主婦) 積 竹子さん(52歳) ペットボトルの資源化を

ごみの現状を考えると、分別の必要にも、有料化がペットボトルの分別回収をした方がいいのではないかと。



那覇市若狭(自治会長) 立尾 国男さん(68歳) 役所の対応が遅い

有料化がやむを得ないということならば、誰もが賛成すると思いますが、もっと早い時期から行政の方で、啓発運動その他分別に対してもしっかりとしたいなというのが実感です。

家庭ごみの有料化については、郵送、FAXまたは、Eメールでご意見をお寄せ下さい。電話でのご意見は業務に差し障りがありますので、できるだけご遠慮下さい。



〒901-1111 南風原町字兼城590番地
那覇市経済環境部 環境整備課 ごみ減量対策係
☎888-5017 FAX 888-1274
E-mail: nahakan@m1.cosmos.ne.jp